

## 平成 28 年度第 2 回豊臣石垣保存公開検討会議要旨

### 1. 開催日時

平成 29 年 3 月 2 日（木） 13 時 00 分～14 時 44 分

### 2. 開催場所

大阪歴史博物館 4 階第 2 研修室

### 3. 出席者

【委員】中村委員、岸本委員、小竹森委員、西形委員、伊藤委員  
(順不同 敬称略)

【オブザーバー】

大阪府教育庁文化財保護課 中西総括主査

### 4. 議事

- (1) 石垣公開施設設計画案について
- (2) モニタリングについて
- (3) その他

### 5. 議事要旨

- (1) 石垣公開施設設計画案について事務局から説明

[事務局説明に対する委員意見]

○建物に関しては、現行の案でいいと思うが、展示の手法は、壁の使い方を工夫し、  
実際みていただく部分より、より奥行き感を出せるような工夫をしてはどうか。  
(岸本委員)

○剥ぎ取り展示はメンテナンスも大変なので、地層の感じを表記できる壁紙のよう  
なものでもよいのではないか。(小竹森委員)。

○施設の運営の面で体制づくり、それにかかる予算組みを考えていく必要があるの  
では(小竹森委員)。

- (2) モニタリングについて事務局から説明

[事務局説明に対する委員意見]

○注意すべき点として、まず石垣の基礎地盤、次に石垣の裏の背面の地盤、最後に  
石垣本体。

石垣の基礎地盤については、排水ますを入れるということと、水平方向への力に

対しては、地盤改良について検討が必要だろうと思う。

石垣背面の地盤については、傾斜計を入れると分かりやすいが、レーザーで観測という方法もある。

石垣本体については、一番天端の石を常に観測する必要があると考える（西形委員）。

○金沢城は全面レーザーで変位を確かめている。あと、写真マッチングという方法もあって、今後、写真で表面の全データが起こせるようになる。（岸本委員）。

○万一石垣が動いたらどうするか対策を考えておく必要がある（西形委員）。

○発掘の際にかなりの地下水が石垣の中から出てきているので、長いスパンで見れば、上からの崩落もあるが、水の問題も考えておく必要がある（伊藤委員）。

### （3）今後のスケジュールについて事務局から説明

〔事務局説明に対する委員意見〕

○設計については、これで進めていいのでは。今後は、メンテナンスを含めて、使う際の対策をきちんと詰めていくといいと思う（小竹森委員）。